

# 京都工芸繊維大学 工芸科学部 合格 上野勇人さん(1類北寮生)

---

## 【はじめに】

勉強方法には「絶対にこれが正しい」というものはないので、自分にあったものを選ぶことが大事です。しかし、自分にあった勉強法は調べるだけで身に付くものではありません。ある程度の期間自分で試す必要があります。「勉強は量よりも質だ」と言う人もいますが、まず量をこなさないと質のいい勉強にはたどり着けません。よく「勉強は朝がいい」と言われますが僕は早起きすると昼間眠たくなるのでどちらかと言うと夜型でしたし、「勉強にはラムネがいい」と言われていますがチョコの方が好きなのでチョコを食べていました。言われていることが必ずしも正しいとは限らないので、早いうちに自分でいろいろ試してみるといいと思います。

## 【ある程度計画を立てる】

教科によって伸び方は違います。国語、数学、英語などの演習が必要な教科は伸びるのが遅いので早めにとりかかる必要があります。逆に理科、社会などの暗記を中心の教科はある程度ギリギリでも間に合うし、早すぎると忘れてしまうこともあります。僕の場合は英語にほとんど時間をさいて、生物や日本史にとりかかったのは12月とかでした。しっかりと計画さえたてていれば模試などの判定が悪くても「この教科はこれから勉強するから大丈夫」と安心できるのでいいと思います。最初にも言いましたが、人によって得意、不得意があるので、早めに模試などを一度受けてみてから計画をたてるのもいいかもしれません。

## 【二次試験を視野に入れて】

僕は共通テストに必死で二次試験対策をおろそかにしていたので少し苦労しました。特に英作文や要約、数学Ⅲなどは共通テストには無く、二次試験までの1ヶ月で間に合わせるのは難しいです。英語についていえば、共通テストは単語と長文さえ対策していればなんとかなりますが、文法がしっかりとしていないと英作文や要約で苦労します。加えて二次試験では長く難易度の高い英文が出ることが多いです。共通テストでは取り扱わないレベルであっても難しいものになれておくと共通テストも楽に感じるので、少し難しいものに手を出しておいてもいいかもしれません。

## 【赤本を有効に】

赤本は共通テストが終わってから出願するまでに絶対に1度は解いてください。傾向や難易度を知った上で1ヶ月で自分がどこまでやれるかをしっかりと考える必要があります。赤本は余裕があるならたくさんすればいいと思いますが。2015年から教育課程が変わっており、そこで出題内容を変えている大学も多いので、無理に買ってまでさかのぼる必要も無いかなと思います。(赤本を解く→自分の弱いとこを固める→仕上げに赤本を解く)くらいの感じでいけば十分だと思います。

## 【自信を持って挑もう】

本番は自信を持って挑んでください。勉強に取り組んだ時間がそのまま自信に直結するとおもいます。勉強だけではなく、「漫画やゲームを我慢する」や「お腹を壊さないように冷たいものを控える」、「睡眠をしっかりと取る」などテストに向けて頑張ったことはすべて自信に繋げて欲しいと思います。天理高校生、特に1類生や寮生は他の学校の受験生と比べて確実に不利な環境で勉強しています。しかし当日はそれさえも自信に変えて、当日は「私はお前らよりも大変な中頑張った」と周りに飲まれないように強気でテストを受けて欲しいです。